

公開講演会

「ロシア・ウクライナ危機が 世界秩序に与える衝撃： 日本と北東アジアへの視座」

The impact of the current Russia-Ukraine crisis on the world order -with a particular view on North East Asia and Japan

日時：2022年 6月10日（金）17時30分～19時30分

場所：対面+Zoom ウェビナーによるハイブリッド開催

- 1 対面：池袋キャンパス 太刀川記念館 3階カンファレンス・ルーム（定員50名）
- 2 オンライン：Zoom ウェビナー

講師：ダーク・ヘベカー氏

（元 UNHCR 駐日代表、立教大学兼任講師）

ドイツ外務省、在ベトナム ドイツ大使館での勤務を経て、1993年に UNHCR ハノイ事務所で帰還担当官としての任務に就く。以来、世界各地で20年以上の人道支援活動の経験があり、ジョージア、ミャンマー、スリランカ、バングラデシュ、スイス（UNHCR ジュネーブ本部）などでの任地を経て国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）第12代駐日代表（2016年～2020年）。現在立教大学兼任講師。



今日の数多いグローバルリスクによって貧困・難民等多くの人権問題が生じている。現状維持でもこれらの問題を解決できないことが明らかな中、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ攻撃が第2次世界大戦後の国際秩序にいまだかつてない衝撃を与えている。この危機は、一見遠く離れた日本に対しても国際社会における役割や外交政策、国際平和に対する貢献や人道支援の観点から再考を迫っている。本講演会では国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）において2016-2020年の駐日代表を含む28年のキャリアを持つダーク・ヘベカー氏より、新たな危機が日本に迫る課題についてお話を伺う。

使用言語 英語（講演・質疑応答ともに日本語通訳あり）

通訳者 木村 Tina 倫子（ハートシップ・ミャンマー・ジャパン 事務局長）

申込方法

下記フォームより申込をしてください。

1 対面参加



申込締切日時：6月3日（金）

- * 定員に達した時点で申込受付終了。
- * 学外者の方には登録メールアドレス宛へ、開催日前日までに【入構許可証】をお送りします。

2 ウェビナー参加

